



第5期みやぎ観光戦略プラン

実施計画

(令和6年度)

令和6年3月

宮城県

目次

第1章 基本的な考え方.....	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画期間	1
3 令和6年度の基本的方針.....	2
第2章 計画期間における数値目標及び観光成果指標について.....	5
1 基本的な考え方	5
2 数値目標	5
3 観光成果指標.....	7
第3章 回復戦略と4つの成長戦略の具体的な取組.....	13
第5期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【県事業】	14
第5期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【市町村事業】	29

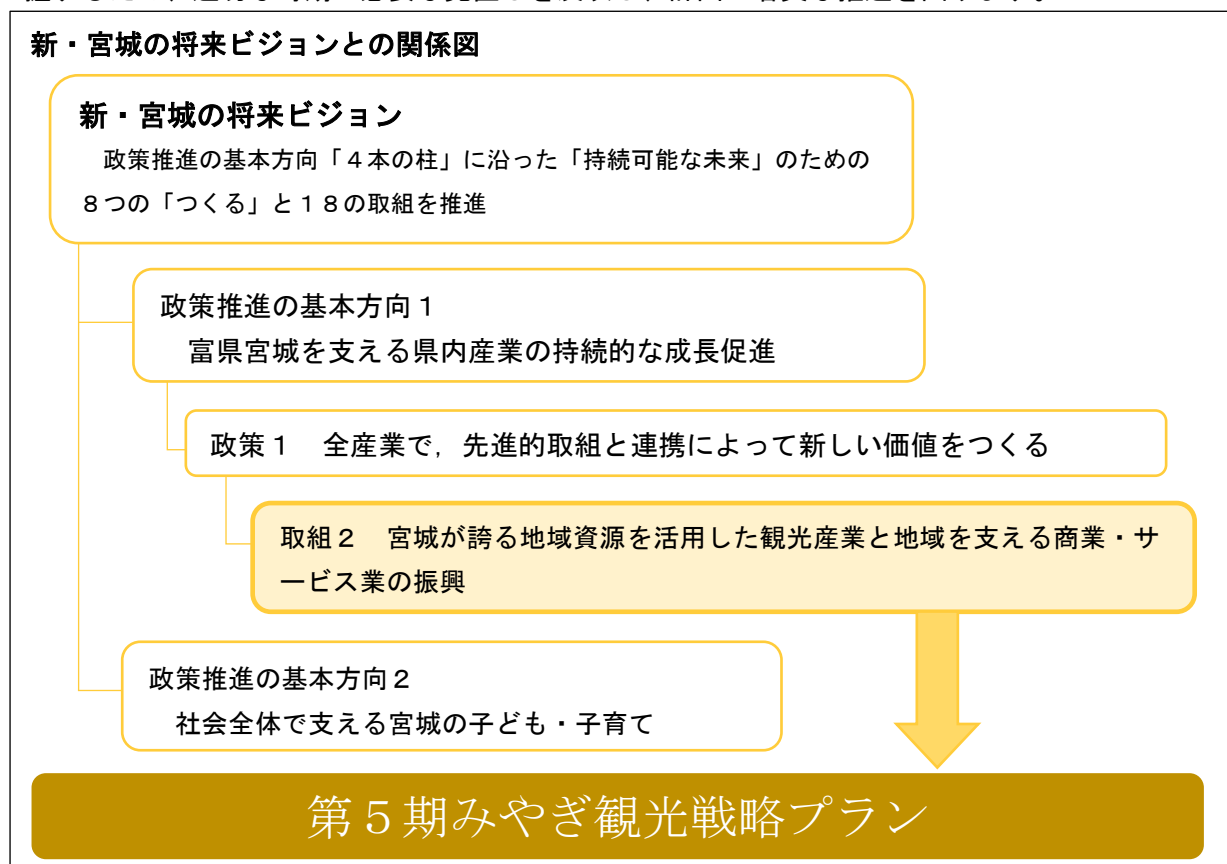
第1章 基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

「第5期みやぎ観光戦略プラン実施計画」（以下「実施計画」という。）は、県が「第5期みやぎ観光戦略プラン」（以下「第5期プラン」という。）に掲げた将来像や数値目標を実現するため、計画期間における具体的な取組内容を取りまとめたアクションプランとして位置づけています。

また、第5期プランを策定した令和4年9月は、世界中で流行が拡大した新型コロナウイルス感染症の完全な収束までには至っておらず、インバウンドを始めとした観光需要の回復が不透明な状況でした。

このことから、第5期プラン期間中は、策定時に見込めなかった新型コロナウイルス感染症の影響や回復状況等を適切に反映させるとともに、事業の進捗状況や観光施策の成果を効果的に把握するため、適切な時期に必要な見直しを反映し、計画の着実な推進を図ります。



2 計画期間

第5期プランと連動させるため、令和4年10月から令和7年3月までの2年半を本計画の期間とします。

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7～
新・宮城の将来ビジョン 実施計画				前期				中期
みやぎ観光戦略プラン				第4期			第5期	
みやぎ観光戦略プラン 実施計画			回復戦略		実施計画		実施計画	

3 令和6年度の基本的方針

現在の観光業を取り巻く環境は、令和5年1月に仙台国際空港国際線の定期便再開、5月には、新型コロナウイルス感染症の5類移行などにより、訪日旅行者の増加に加え、国内観光客の移動が活発化する等、観光需要が高まっている状況にあります。

県では、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の大幅な落ち込みに対して、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等による事業者支援を始め、県民割や全国旅行支援による宿泊需要喚起策のほか、県制150周年記念観光キャンペーン等の展開や外国人観光客誘致促進に向けた誘客プロモーションに取り組んできました。

また、宿泊施設等の高付加価値化に向けた施設改修に対する支援や無線LAN機器の設置や外国語表記の整備等を行う事業者への助成など、ポストコロナにおける観光需要回復に向けた受入環境整備を推進してきたところです。

これらの取組の成果として、令和2年に大幅に落ち込んだ観光客入込数は、令和4年には約5,724万人（対前年比で約27%の増加）、宿泊観光客数も約778万人泊（対前年比で約33%の増加）を記録するなど、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年水準への回復に向け、大幅な増加傾向にあります。

一方、観光需要が回復に向かう中、観光業を稼げる産業に転換するためには、収益力・生産力の向上や深刻化する人手不足への対応などが喫緊の課題となっております。

このような状況の中で、令和6年度は、第5期プランの計画期間の最終年度に当たり、プランで定めた数値目標の達成に向け、各戦略に基づいた取組を更に推進する必要があります。

具体的には、ポストコロナにおける観光地としての競争力を高め、観光産業を回復し、さらに成長軌道に乗せるため、旅行者の利便性向上や観光産業の受入環境整備を目的とした観光DXの推進、観光業における人材確保支援、地域資源を活用した滞在型コンテンツの充実、アウトバウンドも意識した海外との双方向の交流拡大等を図っていきます。

これらに加え、本県への教育旅行の積極的な誘致、市町村や関係団体と連携した観光キャンペーンや、東日本大震災の記憶・教訓の伝承に係る取組など、これまで実施してきた取組についても、市町村や庁内関係課室と緊密に連携しながら、各種事業を展開していきます。

これらの取組を安定的に継続するために、国庫補助金等の特定財源を最大限活用するなど、財源確保に努めるほか、みやぎ観光振興会議の場を活用し、市町村や観光事業者との意見交換や情報共有を行い、関係者が一体となって地域内外から選ばれる持続可能な観光地域づくりを目指します。

【参考】観光庁「観光立国推進基本計画」について

(1) 観光立国推進基本計画

平成19年1月に施行された観光立国推進基本法の規定に基づき、観光立国の実現に関する基本的な計画として新たな「観光立国推進基本計画」が閣議決定されました（令和5年3月31日閣議決定）。

この基本計画においては、観光立国の持続可能な形での復活に向け、観光の質的向上を象徴する「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の3つをキーワードに、持続可能な観光地域づくり、インバウンド回復、国内交流拡大の3つの戦略に取り組むこととしています。

(2) 観光立国推進基本計画概要

① 基本的な方針

- ・ 持続可能な観光地域づくり戦略
- ・ インバウンド回復戦略
- ・ 国内交流拡大戦略

② 計画期間

3年間（令和5年度から令和7年度まで）

③ 観光立国の実現に関する目標

持続可能な形での観光立国の復活に向け、質の向上を重視する観点から、人数に依存しない指標を中心に設定

【持続可能な観光地域づくり戦略】

県実施計画 5 マネジメントの視点⑥

項目	実績値	目標値
	令和4年	令和7年まで
持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数	12 地域 (うち国際認証・表彰地域 6 地域)	100 地域 (うち国際認証・表彰地域 50 地域)

【インバウンド回復戦略】

県実施計画 3 観光産業の視点④関連

項目	実績値	目標値
	令和元年	早期に
訪日外国人旅行消費額	4.8 兆円	5 兆円

県実施計画 3 観光産業の視点②関連

項目	実績値	目標値
	令和元年	令和7年まで
訪日外国人旅行消費額単価	15.9 万円	20 万円

県実施計画 1 観光客の視点②関連

項目	実績値	目標値
	令和元年	令和7年まで
訪日外国人旅行者1人当たり地方部宿泊者数	1.35泊	1.5泊

県実施計画掲載なし
(都道府県別の公表データなし)

項目	実績値	目標値
	令和元年	令和7年まで
訪日外国人旅行者数	3,188万人	令和元年水準超え

県実施計画 2 県民の視点②

項目	実績値	目標値
	令和元年	令和7年まで
日本人の海外旅行者数	2,008万人	令和元年水準超え

県実施計画 3 観光産業の視点⑦関連

項目	実績値	目標値
	令和元年	令和7年まで
アジア主要国における国際会議の開催件数に占める割合	アジア2位 (30.1%)	アジア最大の開催国 (3割以上)

【国内交流拡大戦略】

県プラン 数値目標

項目	実績値	目標値
	令和元年	令和7年まで
日本人の地方部延べ宿泊者数	3.0億人泊	3.2億人泊

県プラン 数値目標関連

項目	実績値	目標値	
		早期に	令和7年まで
国内旅行消費額	21.9兆円	20兆円	22兆円

第2章 計画期間における数値目標及び観光成果指標について

1 基本的な考え方

本プランの推進に当たっては、第5期プランにおける「目指すべき将来像」を実現するための基本的な「数値目標」を設定するほか、プランに掲げる戦略を着実に実行していくための「観光成果指標」を設定します。

数値目標及び観光成果指標については、行政のみならず県民、観光事業者等の多様な主体が連携・協力し、宮城県が選ばれ続け、持続可能な観光地域づくりを実施していくための共通の目標として推進していきます。

本県観光の今後の目指すべき姿

1. 観光客と地域住民が共に高い満足度を得られる観光地の姿
2. 観光関連産業が地域経済を牽引している姿
3. 多様化する観光ニーズや自然災害・感染症等に対応した姿
4. 戦略的な情報発信により、広域周遊を通じて国内外から多くの観光客が訪れている姿

2 数値目標

数値目標については、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ観光需要や観光消費などの「回復の視点」を基本としつつ、ポストコロナを見据えた「成長の視点」の二つの側面から設定し、前者を「回復目標」、後者を「成長目標」とします。

第5期プランで設定する数値目標は、経済的な実態を把握することから、「宿泊観光客数」、「外国人観光客宿泊者数」及び「観光消費額」の3つの指標とします。

なお、第4期プランまで数値目標として設定していた「観光客入込数」については新たに設定する「観光成果指標」へ移行します。

数値目標

宿泊観光客数

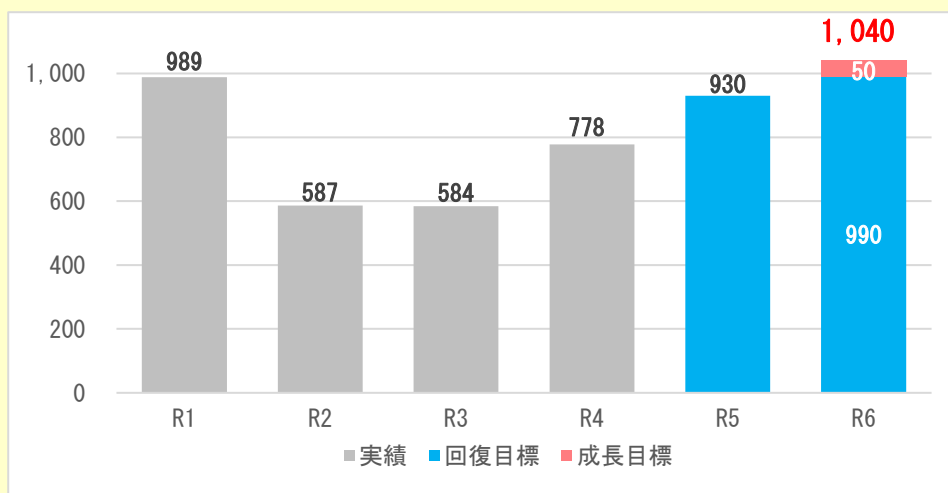
587万人泊 (R2)
584万人泊 (R3)
778万人泊 (R4)

回復目標

990万人泊 < 1,040万人泊
(R6)

成長目標

(R6)

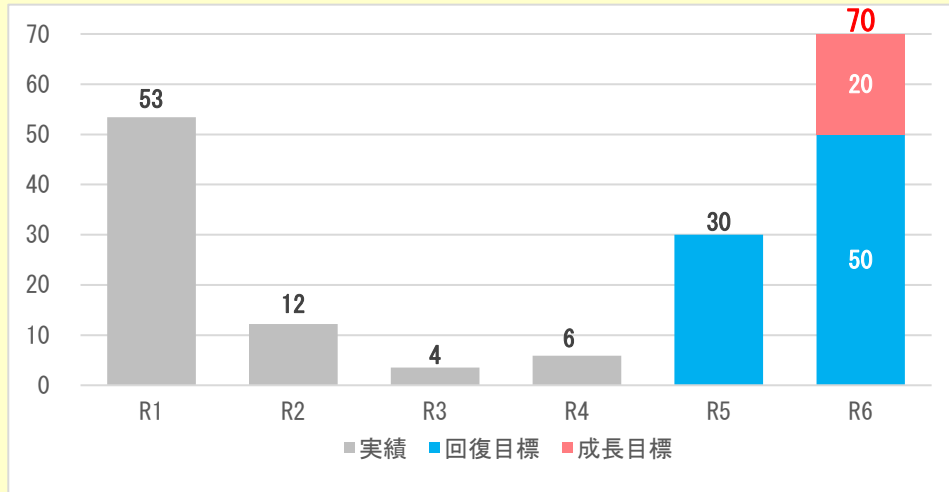


数値目標

外国人観光客宿泊者数

12.2万人泊 (R2)
3.6万人泊 (R3)
6.0万人泊 (R4)

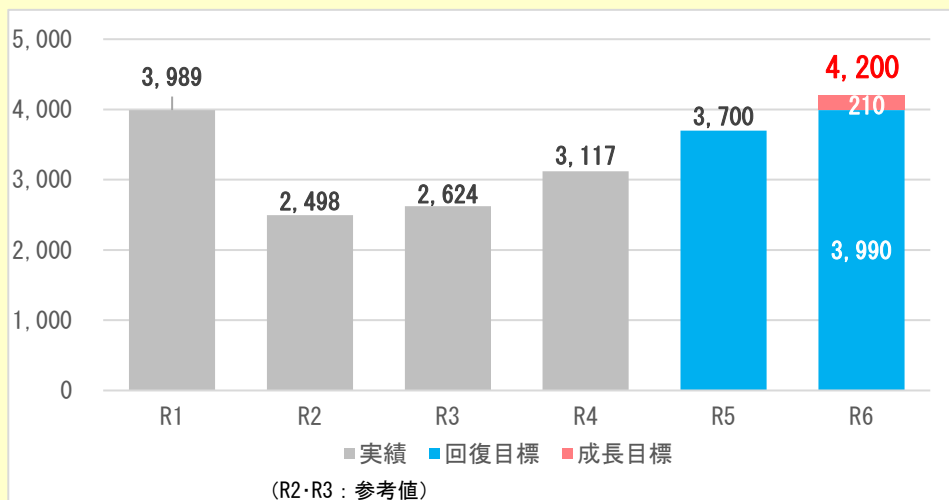
回復目標 **50万人泊** (R6) < 成長目標 **70万人泊** (R6)



観光消費額

2,498億円 (R2:参考値)
2,624億円 (R3:参考値)
3,117億円 (R4)

回復目標 **3,990億円** (R6) < 成長目標 **4,200億円** (R6)



※計画期間最終年度の数値を計画の目標値とします。

3 観光成果指標

第5期プランに掲げる「回復戦略」と4つの「成長戦略」の各施策の達成度合いを測定すると共に、これまで「観光客の視点」が中心であった数値目標を多角的に分析・評価することを目的に導入するものです。

観光は災害等の環境変化等に影響を受けやすいことに加え、さらに観光施策の効果が速やかに現れるものだけではなく、効果が発現するまで時間がかかるものもあることから、観光成果指標は時宜に応じた見直しを図っていきます。

1 観光客の視点								
観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化	
		年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移	
① 観光客入込数 ※1	4,495 万人	R3	5,724 万人	R4	万人	R5		
② 外国人観光客の平均泊数 (仙台空港から入国) ※2	4.9 泊	R1	— 泊	R4	— 泊	R5		
③ 居住地別宿泊観光客数 (中部以西) ※1	278,228 人 (8.7%)	R2	323,613 人 (9.3%)	R3	438,885 人 (10.4%)	R4		
④ 満足度 (魅力) ※3	79.7%	R3 年度	76.6%	R4 年度	75.5%	R5 年度		
⑤ 満足度 (二次交通) ※3	62.8%	R3 年度	60.1%	R4 年度	57.9%	R5 年度		
⑥ リピーター率 (2 回以上の来訪) ※3	82.1%	R3 年度	81.4%	R4 年度	82.1%	R5 年度		
⑦ 再来訪意向 ※3	90.4%	R3 年度	90.1%	R4 年度	87.6%	R5 年度		
⑧ 観光地としての推奨度 ※3	73.3%	R3 年度	73.3%	R4 年度	72.6%	R5 年度		
⑨ 訪問経験 ※3	59.9%	R3 年度	59.4%	R4 年度	59.1%	R5 年度		
⑩ 教育旅行宿泊状況 ※1	56,453 人	R2	94,297 人	R3	107,746 人	R4		
⑪ 民泊者数 ※4	6,315 人	R3	10,013 人	R4	人	R5		







※1 宮城県「観光統計概要」

※2 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

※3 宮城県「観光客実態調査」

※4 宮城県調査

2 県民の視点

観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化
		年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
① 県内旅行の経験 (過去3年間) ※1	62.4%	R3 年度	48.4%	R4 年度	49.4%	R5 年度	
② 県民の出国者数 ※2	9,376 人	R2	0 人	R3	2 人	R4	
③ 満足度 (二次交通) ※1	39.4%	R3 年度	34.0%	R4 年度	26.8%	R5 年度	
④ 満足度 (ホスピタリティ) ※1	47.0%	R3 年度	33.0%	R4 年度	34.6%	R5 年度	
⑤ 外国人観光客に対する受入意向 ※1	66.8%	R3 年度	68.6%	R4 年度	70.4%	R5 年度	
⑥ サステナブルツーリズムに対する認知度 ※1	—		11.4%	R4 年度	8.8%	R5 年度	

※1 宮城県「観光客実態調査 (WEB アンケート調査)」

※2 出入国在留管理庁「出入国管理統計」

3 観光産業の視点

観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化
		年/ 年度		年/ 年度		年/ 年度	前回計測時点 からの推移
① 県内総生産（宿泊・ 飲食サービス業） ※1	2,179 億円	R1 年度	1,327 億円	R2 年度	1,293 億円	R3 年度	
② 観光消費額単価 （宿泊）	【県内】 25,949 円	R1	【県内】 13,165 円	R3	【県内】 14,808 円	R4	
	【県外】 27,618 円		【県外】 25,351 円		【県外】 26,034 円		
	【国外】 35,643 円 ※2		【国外】 －円		【国外】 －円		
③ 観光消費額単価 （日帰り）	【県内】 5,980 円	R1	【県内】 6,295 円	R3	【県内】 4,641 円	R4	
	【県外】 10,221 円		【県外】 10,196 円		【県外】 8,682 円		
	【国外】 9,212 円 ※2		【国外】 －円		【国外】 －円		
④ 訪日外国人旅行消 費額 ※2	440 億円	R1	－億円	R3	－億円	R4	
⑤ 雇用誘発数 ※2	24,298 人	R2	24,796 人	R3	40,946 人	R4	
⑥ 宿泊施設数 （旅館業） ※3	1,028 件	R2 年度	999 件	R3 年度	1,000 件	R4 年度	
⑦ MICE開催数 （コンベンション） ※2	232 件	R2 年度	554 件	R3 年度	1,339 件	R4 年度	
⑧ 映画・テレビ等の ロケーション撮影 誘致数 ※4	32 件	R3 年度	31 件	R4 年度	件	R5 年度	
⑨ ワークेशन 協議会参加数 ※5	150 団体	R3	157 団体	R4	157 団体	R5	

※1 宮城県「宮城県民経済計算年次推計」

※2 宮城県「観光統計概要」

※3 厚生労働省「衛生行政報告例」

※4 宮城県調査

※5 宮城ワークेशन協議会ホームページ

4 観光産業の視点

観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化
		年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
① 国・県指定文化財件数 ※1	391 件	R3	394 件	R4	394 件	R5	
② 震災伝承施設数 ※1	134 施設	R4	137 施設	R5	161 施設	R6	
③ ボランティアガイド団体数 ※1	58 団体	R3	56 団体	R5	57 団体	R6	
④ 通訳案内士数 ※1	148 人	R4	169 人	R5	152 人	R6	
⑤ 教育旅行体験プログラム数 ※1 (うち SDGs・探究学習) (うち震災・防災・減災学習)	293 件 (62 件) (40 件)	R4	286 件 (106 件) (47 件)	R5	356 件 (120 件) (48 件)	R6	
⑥ コンサート開催数 (グランディ 21) ※1	25 件	R3 年度	30 件	R4 年度	31 件	R5 年度	
⑦ デジタル化取組状況 (宿泊・飲食サービス業) ※1	42.8%	R4	50.0%	R5	%	R6	
⑧ 県公式サイトインバウンドコンテンツ数 ※1	797 件	R4 年度	932 件	R5 年度	件	R6 年度	
⑨ 観光キャンペーン事業市町村関連企画数 ※1	231 件	R4	66 件	R5	件	R6	
⑩ SDGs 未来都市選定数 ※2	3 件	R3 年度	4 件	R4 年度	4 件	R5 年度	
⑪ 自然公園等環境整備件数 (工事件数) ※1	10 件	R3 年度	7 件	R4 年度	13 件	R5 年度	
⑫ 仙台空港定期便運航数 (国内線) ※1	9 路線 49 往復 /日	R4	9 路線 52 往復 /日	R5	8 路線 51 往復 /日	R6	
	うち中部以西の空港発着数		8 路線 35 往復 /日		8 路線 37 往復 /日		7 路線 36 往復 /日
⑬ 仙台空港定期便運航数 (国際線) ※R6.4 現在一部運休中 ※1	0 路線 0 往復/週	R4	1 路線 17 往復/週	R5	4 路線 28 往復/週	R6	
⑭ 農泊推進団体数 ※1	25 団体	R3 年度	25 団体	R4 年度	25 団体	R5 年度	

4 観光産業の視点

観光成果指標		初期値		前回		現況値		経年変化
			年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
⑮	食材王国みやぎ地産地消推進店登録数※1	429 施設	R3 年度	517 施設	R4 年度	519 施設	R5 年度	
⑯	心のバリアフリー認定施設数（宿泊施設）※3	4 件	R4	4 件	R5	17 件	R6	
⑰	みやぎの食べきりモデル店舗認定数（宿泊施設）※4	2 件	R4	3 件	R5	3 件	R6	



※1 宮城県調査

※2 内閣官房・内閣府総合サイト

※3 観光庁ホームページ

※4 宮城県ホームページ

5 マネジメントの視点

観光成果指標	初期値		前回		現況値		経年変化
		年/年度		年/年度		年/年度	前回計測時点からの推移
① 教育旅行マッチング件数（国内） ※1	84 件	R3 年度	107 件	R4 年度	113 件	R5 年度	
② 有識者・地域の事業者からの意見聴取回数 ※1	16 回	R3 年度	10 回	R4 年度	10 回	R5 年度	
③ 市町村観光計画の策定数 ※1	14 件	R4	14 件	R5	14 件	R6	
④ 市町村観光協会の設置数（宮城県観光連盟会員） ※2	25 団体	R4	25 団体	R5	25 団体	R6	
⑤ DMO登録数 ※3	5 団体	R4	5 団体	R5	5 団体	R6	
⑥ 持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数 ※3			1 地域	R5	1 地域	R6	

※1 宮城県調査

※2 宮城県観光連盟ホームページ

※3 観光庁ホームページ

第3章 回復戦略と4つの成長戦略の具体的な取組

回復戦略	感染症により落ち込んだ観光需要の回復	
<p>(1) 安全・安心の機運醸成と可視化による選ばれる観光地づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■観光地として選ばれるための安全・安心の対策とその見える化の取組 ■入国制限緩和を見据えたインバウンドへの取組 <p>(2) 回復フェーズに応じた取組推進と観光資源の魅力の再発見</p> <ul style="list-style-type: none"> ■社会経済活動の回復フェーズや新たな旅のスタイルに対応した取組の推進 ■アウトドアコンテンツをはじめとする地域の魅力の再発見と旅行者の受入体制の構築 ■交流人口に加え、関係人口創出・拡大の取組 		   
成長戦略 1	魅力あふれる観光地づくり	
<p>(1) 特色ある地域資源の発掘・磨き上げと観光コンテンツの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ■食・自然・歴史・文化等の地域資源の発掘・磨き上げ ■サステナブルツーリズム（持続可能な観光）の推進 ■地域の独自性を売りにした体験型観光プログラムやデジタルを活用した観光コンテンツの造成 <p>(2) 観光に対する地域住民や旅行者の意識醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域住民の郷土への誇りや愛着の醸成 （観光客と地域住民の交流促進、おもてなし講座の開催、地域におけるふるさと教育の推進） ■旅行者や地域住民の自然環境の保全や旅行マナー等に関する意識の醸成 <p>(3) 震災の経験を生かした復興ツーリズムや教育旅行の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ■震災の教訓を伝承するとともに、防災・減災学習など学びの機会の創出 ■震災を契機とした地域との関係性の継続・深化 		 
成長戦略 2	観光産業の体制強化	
<p>(1) 地域経済循環力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■農林水産業などの他産業との連携強化やコト消費への転換、スポーツ、コンテンツツーリズム等や文化・音楽、芸術イベント等との連携 ■地域の価値向上や空間的魅力の創出による観光地の高付加価値化 <p>(2) 地域を支える観光人財の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ■観光産業を牽引する「人財」の育成と活躍できる環境の整備 ■高等学校（観光科・商業科）や大学等との連携による未来を担う観光人財の育成 		 
成長戦略 3	受入環境の整備促進	
<p>(1) 旅行者の安全・安心確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ■災害や感染症等発生時の宿泊施設等の対応力・態勢強化 ■旅行者への情報伝達態勢の整備 <p>(2) 多様化する旅行者の受入環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■多言語化やキャッシュレス等の非接触化の促進、AI技術等による観光サービスの機能強化 ■ウィズコロナ・ポストコロナに適応したビジネスモデルの転換の促進 ■地域内・広域周遊のための二次交通の利便性向上も含めた観光交通機能の強化 ■安全性に配慮した自然公園施設等の整備 		
成長戦略 4	戦略的な誘客プロモーション	
<p>(1) 旅行者のニーズやターゲットに応じた戦略的プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■デジタルマーケティングを活用したプロモーションの実施 ■首都圏・東アジアの重点市場などのターゲットに応じた誘客プロモーション ■安全・安心対策の更なる可視化と確実な情報発信 <p>(2) 東北各県や東北観光推進機構等と一体となった広域周遊観光の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■三陸沿岸道の全線開通や世界文化遺産などを生かした広域観光ルートの充実 ■仙台空港24時間化を契機とした航空路線誘致等による中部以西等から東北への誘客促進 		

第5期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【県事業】

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略											
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4		
				(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)				
1	観光戦略課	宮城県グリーン製品を活用した公園施設整備事業	東北自然歩道「新・奥の細道」の案内看板等が老朽化したため、撤去を行うとともに引き続き必要な個所には新しい案内看板を設置する。	●	●	●			●								●	
2	観光戦略課	外国人観光客受入環境整備促進事業	外国人が快適に観光を楽しむ環境整備のため、県内の宿泊施設や観光集客施設が行う公衆無線LAN機器設置や案内表示等の多言語化整備に対して支援を実施する。	●	●	●	●		●								●	
3	観光戦略課	観光地域づくりチャレンジ事業	みやぎ観光戦略プランに基づき、地方振興事務所と地域の事業者が一体となって、交流人口や関係人口の創出・拡大に向けた観光地域づくりを実施する。	●	●	●	●	●										
4	観光戦略課	教育旅行誘致促進事業	教育旅行を通じて本県の魅力を伝えることは、将来的に進学、就職、家族の旅行先などのリピーターづくりにも繋がり、長期的な交流人口の確保が見込めることから、教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行等コーディネート支援センターの運営及び北海道、関東、中部以西等でプロモーションを実施する。	●	●	●	●	●	●	●	●							
5	観光戦略課	フィルムコミッション推進事業	映画、テレビを通じて当県の魅力を内外に広く発信し、当県の知名度向上と観光集客力の強化を推進するため、「せんだい宮城フィルムコミッション」に参画して、映画、テレビ等の撮影のロケーションの誘致、支援等を行う。	●	●	●			●	●	●							
6	観光戦略課	風評被害等観光客実態調査事業	東京電力福島第一原子力発電所事故による風評被害の実態把握や今後の観光施策を検討する上での基礎資料とするため、観光客へのアンケート調査等を行う。	●	●	●	●	●	●		●							
7	観光戦略課	みやぎ観光戦略受入環境基盤整備事業	観光客の安全な利用等に配慮した自然公園施設の再整備や広域観光案内板の修正・整備等を進める。	●	●	●	●	●			●		●	●				
8	観光戦略課	みやぎエコ推進バス運行補助事業	観光地の保全を図りながら、エコに関する県民意識の向上を促すため、エコの視点を取り入れ、観光地における循環バス・シャトルバスの運行事業などに係る経費の補助を行う。	●	●	●											●	●
9	観光戦略課	MICE（国際会議等）の誘致推進事業	多くの外国人を一時に招致できるMICE（国際会議等）の誘致を積極的に実施し、高い経済波及効果を生み出すため、専門のスタッフを抱え誘致事業に精通した団体への補助を行う。	●	●	●											●	

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略											
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4		
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
10	観光戦略課	みやぎ観光振興会議運営事業	観光関係事業者等と意見交換の場を設定し、観光施策の推進を図る。	●	●	●					●	●	●	●	●	●		
11	観光戦略課	未来を担う観光人材プロジェクト	観光産業を持続的に成長させていくため、通訳ガイドの育成を目的として、県内の学生や全国通訳案内士等を対象とした研修会や研修内容の実践・活躍機会創出の支援を実施するほか、宿泊施設における人材の育成・確保を目的として、県内の学生等を対象とした宿泊業の実習機会の創出や、就職定着を支援する。	●	●	●								●				
12	観光戦略課	観光地周遊促進事業	観光地までの渋滞状況や、飲食店等の観光施設における混雑状況について、AIカメラ等を活用し、可視化するとともに、観光用のデジタルマップにより、観光施設情報と一体的に情報発信する。	●	●	●											●	
13	観光戦略課	アンバサダーサミット開催事業	本県におけるイン・アウトバウンドの拡大や外国人材の確保、外資企業の投資獲得等に向け、G7等の駐日大使などを招いた「アンバサダーサミット」を開催し、宮城・東北が誇る観光資源等を活用したプロモーション、投資セミナーやビジネスマッチングを実施する。			●												●
14	観光戦略課	宮城ワーケーション情報環境整備推進事業	宮城におけるワーケーションの一層の普及促進を図るため、県内のワーケーション施設等の情報を一元化したポータルサイトを構築し、効果的な情報発信を行う。	●	●	●	●					●				●		
15	観光戦略課	小規模宿泊施設普及拡大事業	外国人観光客をはじめとする多様な宿泊ニーズに対応するため、小規模宿泊施設の新規開業者や既存事業者を対象にしたセミナーの開催や、小規模宿泊施設等の施設整備等に係る経費を支援する。	●	●	●	●	●								●		
16	観光戦略課	多賀城創建1300年記念イベント支援事業	多賀城が令和6年に創建1300年を迎えることから、多賀城をはじめとする本県の魅力を伝えるため、多賀城創建1300年記念事業実行委員会や多賀城市が実施する記念事業と相乗的な事業を実施するもの。			●												●
17	観光戦略課	ツーウェイツーリズム推進事業	若年層の海外との交流機会を創出して国際相互理解力を向上させるとともに、海外との交流拡大を通じて、空港路線の維持・拡大を図り、インバウンドの更なる誘客拡大につなげるため、県内の中学校、高等学校等が実施する海外教育旅行の経費を支援する。			●												●

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略													
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4				
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)			
18	観光戦略課	観光誘客推進事業	県内市町村のほか、関係団体等と連携し、本県における観光資源を磨き上げ、魅力の向上を図るとともに誘客活動の実施により、幅広い層の観光客の確保を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
19	観光戦略課	仙台・宮城おもてなし態勢向上事業	仙台・宮城観光PRキャラクター「むすび丸」を活用した本県観光のPR活動を実施し、県内への誘客を図る。	●	●	●													●	
20	観光戦略課	みやぎ観光デジタルプロモーション事業	新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた県内観光の早期回復のため、戦略的にデジタルを活用し、「旅マエ」「旅ナカ」「旅アト」のプロモーションを実施する。	●	●	●	●	●											●	
21	観光戦略課	外国人観光客誘致促進事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、甚大な影響を受けたインバウンドの早期回復に向けて、東北各県等と連携した積極的な誘客活動を実施する。	●	●	●	●	●											●	●
22	観光戦略課	宮城オルレ推進事業	韓国済州島発祥のトレッキング「オルレ」の宮城県版「宮城オルレ」のコースを県内各地で整備し、魅力あるコンテンツとして磨き上げ、国内外からの誘客促進・交流人口の拡大を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
23	観光戦略課	山形県と連携した広域観光の推進事業	大都市圏や海外からの誘客を図るため、山形県と連携した観光プロモーションの展開などの取組を行う。	●	●	●	●	●											●	●
24	観光戦略課	国際観光モデル地区観光施設整備事業	外国人観光客の誘客及び受入環境整備を図るため、栃木県、南東北3県及び県内市町村と連携し、観光プロモーションや看板整備などの取組を行う。	●	●	●	●	●											●	●

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略												
							回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4			
				R4	R5	R6	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		
25	観光戦略課	東北観光推進機構等と連携した広域観光の取組強化	大都市圏や海外から東北への誘客を図るため、東北各県や東北観光推進機構等と連携し、東北が一体となった観光プロモーションの展開などの取組を行う。	●	●	●			●									●	●
26	観光戦略課	宮城・山形合同観光PR事業	東北自動車道安達太良サービスエリア等において、山形県と合同で臨時観光案内所を設置し、観光情報の発信を行う。	●	●	●			●									●	
27	富県宮城推進室・商工金融課・観光戦略課	蛻変プロジェクト	地域の担い手自身が地域の課題意識や目指すべき姿を共有するとともに、人流や投資呼び込むことによる地域経済の循環や持続可能なまちづくりを支援する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
28	富県宮城推進室	宮城マスター検定事業	ご当地検定の形式を用いて、宮城の特産品、観光地、イベント等産業関係の情報を中心に広く県内外にPRすることにより、宮城県の地域資源、産業全般に関する認知度を高めるとともに、地域産業の活性化を図る。	●	●	●			●	●									
29	新産業振興課	みやぎの伝統的工芸品産業振興事業	国及び県指定の伝統的工芸品について、新商品開発や販路拡大等の支援を行い、伝統工芸産業の普及・振興を図るとともに、工芸品や各産地の魅力を情報発信する。	●	●	●												●	
30	新産業振興課	放射光施設利用促進事業	令和6年4月に運用開始となる3 GeV高輝度放射光施設NanoTerasu（ナノテラス）の見学機会の創出や関係機関と連携した情報発信等を行う。			●			●										
31	商工金融課	次世代型商店街形成支援事業	商店街のニーズや商店街を取り巻く環境の変化に適合した、次世代を見据えた持続的で発展的な商店街の構築を図るため、商店街団体等が行う商店街ビジョン形成及びビジョンに基づく課題解決の取組を支援する。	●	●	●												●	
32	商工金融課	商店街NEXTリーダー創出事業	魅力ある商店街の形成を促進するため、先進事例等を学ぶセミナー、実践事業への補助及びネットワーク会議により、商店街活動の新たな担い手や中心人物の創出を支援する。	●	●	●												●	
33	商工金融課	中小企業経営安定資金等貸付金	観光客の利便性の向上及び安全・安心の確保を図るため、中小企業者が観光施設の整備等を行う際に、“伊達な旅”整備促進資金等の県制度融資により、資金融通の円滑と観光産業の振興を図る。	●	●	●												●	
34	商工金融課	中小企業経営安定資金等貸付金（コロナ対応分）	新型コロナウイルス感染症により売上高が減少した中小企業者に対して、民間金融機関を活用した資金繰り支援を実施するため、取扱金融機関に対し預託原資の貸し付けを行います。	●	●	●	●												

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略													
							回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4				
				R4	R5	R6	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)			
35	商工金融課	被災中小企業者対策資金 利子補給事業補助	県制度融資「新型コロナウイルス感染症対応 資金」の金利負担を軽減するため、利子補給 を行います。	●	●	●	●													
36	雇用対策課	みやぎ地域活性化雇用創 造プロジェクト事業	女性や高齢者等の潜在的労働力の掘り起こし から就職までをトータルかつきめ細かにサ ポートする雇用支援拠点の設置と県内企業の 受入環境の整備支援を実施し、求人・求職側 の双方から多様な人材の活躍を推進すること で、企業の競争力の源泉である「人財」の確 保を進め、富県宮城の実現を雇用政策面から 支える。			●	●													
37	国際政策課	海外交流基盤再構築事業	震災により大幅に減少した外国人観光客等の 誘致を図るため、訪問団等を積極的に受け入 れる。	●	●	●														●
38	国際政策課	海外交流基盤強化事業	中国吉林省、米国デラウェア州等海外自治体 等との関係を強化するため、訪問団の派遣や 受入れを行い、本県のPR等を効果的に実施す る。	●	●	●														●
39	国際政策課	多文化共生推進事業	多文化共生の基本理念の普及・浸透を目指 し、「宮城県多文化共生社会推進計画」に基 づき、今後一層の増加が見込まれる外国人に 対し、地域において更なる受入環境整備を図 ることを目的とした事業を実施する。	●	●	●														●
40	国際ビジネス推 進室	県産食品海外ビジネス マッチングサポート事業	農林水産物の輸出に取り組む事業者のスター トアップから海外ビジネス展開の段階に応じ て細やかな個別支援を実施するとともに、輸 出に当たって課題となる物流面などの課題解 決に向けたバリューチェーンのモデル構築に より更なる輸出拡大を図るもの。	●	●	●														●

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略															
							回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4						
				R4	R5	R6	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)					
41	大阪事務所	「宮城・山形・福島」南東北三県観光展開催事業	南東北三県が連携して、地域の魅力を周知し、一層の誘客促進を図るため、大阪市内において観光PRを行う。	●	●	●														●		
42	大阪事務所	東北六県観光展開催事業	東北六県が連携し、東北の魅力等を積極的かつ集中的に提供することにより、一層の観光誘客の促進を図るため、観光案内、ポスター・パンフレットの掲示、民芸品等の展示、DVD放映、ゆるキャラによるPR及び東北旅行・特産品プレゼントなどを行う。	●	●	●														●		
43	大河原地方振興事務所	みやぎ蔵王ブランド推進事業	仙南地域の「食と観光のブランド化」を目的とした産業振興と広域観光推進を図るため、「みやぎ蔵王三十六景」「みやぎ蔵王温泉郷」等を活用した観光振興策を、管内市町・関係機関・DMO・周辺観光圏との連携により展開する。 (1)食のブランド化事業 郷土料理やスイーツ、地域の逸品等の販売促進、PR (2)広域観光・食と物産情報の発信強化事業 SNSキャンペーンや管内ひな祭りイベントの一体的PR等 (3)みやぎ蔵王温泉郷振興事業 (4)みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議	●	●	●	●	●	●	●	●									●	●	
44	大河原地方振興事務所	仙南アドベンチャーツーリズム推進事業	子ども達の健全育成推進のため、仙南地域の豊かな自然環境を活用したアドベンチャーツーリズム造成を行い、子ども向け自然体験プログラムを都市部の子育て世帯に向けて分かりやすく情報発信する。	●	●	●	●	●	●	●				●						●	●	
45	大河原地方振興事務所	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会の取組として、以下の事業を行う。 (1)特別企画「ご当地キャラクターを探せ！」(夏) (2)独自企画 秋冬周遊企画 (3)「みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議」との連携事業	●	●	●	●	●	●												●	●
46	大河原地方振興事務所	SNS等を活用した積極的な情報発信事業	令和3年度に開設した公式Twitter、令和4年度に開設した公式Instagramをはじめ、ブログやFacebook等のSNSを最大限活用し、仙南圏域の観光や食の魅力を発信する。	●	●	●	●	●	●												●	

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略											
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4		
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
47	大河原地方振興事務所	3県（宮城・山形・福島）連携広域周遊促進事業	近年、東北中央道の開通等により、南東北3県（宮城仙南・山形置賜・福島県北）の交通アクセスが改善され、これまで以上に県境を越えた広域周遊の利便性が高まっていることから、各地域の魅力を多くの方に知ってもらい、3県の相互交流を促進するため、各地域の特産であるフルーツや食材を使用したスイーツを切り口とした周遊企画を実施する。		●	●	●	●									●	●
48	大河原地方振興事務所	仙南地域観光人材育成事業	仙南地域の観光を担う人材育成を目的として、地域の観光に関わる官・民、業種を超えた実務者層を中心に、1年目のステップアップした内容の講座を開催するとともに、地元高校と連携し、教育現場における子ども達の地元愛醸成や次世代の観光人材を育成する。		●	●	●	●					●				●	●
49	仙台地方振興事務所	仙山交流連携促進事業	文化面・交通面での結びつきが強い宮城県仙台地域及び山形県村山地域合同の特産品販売会等を支援するとともに、両地域の魅力を発信することで、両地域の相互交流をさらに深める。	●	●	●	●											●
50	仙台地方振興事務所	仙台圏域内観光周遊促進・満足度向上事業～仙台圏域ぐるっと周って満足旅～	仙台圏域が一体となった観光周遊戦略を展開することで、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光需要の回復と観光産業を中心とした地域活性化を図る。		●	●	●	●	●								●	
51	仙台地方振興事務所	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会事業	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会の事務局として、関係市町村等と連携・協働しながら、圏域観光の推進を図る。	●	●	●	●	●					●				●	
52	北部地方振興事務所	最上・雄勝・大崎三県連携交流事業	大崎地域と山形県最上地域・秋田県雄勝地域との県境を越えた広域的な取組として、三地域合同の観光PRイベント等を開催する。	●	●	●												●
53	北部地方振興事務所	SNSによる観光情報発信事業	国内・海外からの誘客促進を図るため大崎地域等の観光地の魅力をSNS（Youtube、Facebook、Instagram）を活用し情報発信する。	●	●	●												●
54	北部地方振興事務所	地域食材魅力発信事業	大崎地域のイベントである「おおさき食楽まつり」において、来場者に対して地域食材の魅力を発信し消費拡大に繋げるもの。また、大崎地域の農産物直売所を取材し、FacebookやInstagram等で情報発信する。	●	●	●							●					
55	北部地方振興事務所	バーチャルトリップサイトによる観光情報発信事業	海外からの誘客促進を図るため、大崎管内の観光地を360°映像等で紹介するバーチャルトリップサイト「アイラブオオサキ」で国内外に発信する。	●	●	●												●

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略												
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4			
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		
56	北部地方振興事務所	観光のデジタル化促進事業	大崎地域の観光関係団体及び事業者等を対象に、SNS活用による情報発信など、受入側のデジタル化を促進するための研修を開催する。	●	●	●												●	
57	北部地方振興事務所	おおさき魅力発見事業	県内の小中高生を対象に、大崎地域でガイド体験会を実施するもの。大崎地域の魅力を体感しながら、興味を抱いた観光コンテンツの説明ができるようにすることで、参加者やその家族、受入れ地域のシビックプライドの醸成につなげるもの。			●													
58	北部地方振興事務所	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県北地域部会事業	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県北地域部会の事務局として、関係市町や観光関係団体等と連携しながら、地域あるいは地域を越えて連携した観光施策を主体的に実現させ、地域の活性化に資するための継続した観光の仕組みづくりを行う。	●	●	●													●
59	北部地方振興事務所栗原地域事務所・東部地方振興事務所登米地域事務所・気仙沼地方振興事務所	岩手・宮城県際広域観光推進研究会による情報発信事業	岩手県と宮城県の県際地域における広域観光の推進を図るため、「岩手・宮城県際広域観光推進研究会」に参画し、観光案内所等におけるパンフレットの相互配架、広域パンフレットの作成等を行う。	●	●	●													●
60	北部地方振興事務所栗原地域事務所	くりはらマルシェ開催事業	栗原地域の物産品のPR販売と合わせて観光PRを実施し、栗原地域への誘客促進を図る。	●	●	●													●
61	北部地方振興事務所栗原地域事務所	シビックプライド醸成セミナー開催事業	栗原管内の観光関連産業従事者等を対象として、地元の魅力を再確認するセミナーを開催する。	●	●	●													●
62	北部地方振興事務所栗原地域事務所	関係人口拡大プロモーション事業	若年層（大学生・専門学校生等）を対象として、地域の企業や団体と連携した「課題解決型合宿」やお手伝い型の体験イベントを実施する。	●	●	●													●
63	北部地方振興事務所栗原地域事務所	体験・宿泊型観光推進事業	体験や宿泊を伴う滞在型観光を推進するため、農泊・民泊等開業志向者の掘り起こしにつながるイベントの開催や、開業・経営の伴走型支援を行う。	●	●	●													●
64	北部地方振興事務所栗原地域事務所	栗駒山麓広域連携事業	栗駒山を共通の観光資源とする岩手県、秋田県と連携し、栗駒山麓の登山マップや広域観光パンフレットの作成、配架等を行う。	●	●	●													●

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略															
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4						
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)					
65	東部地方振興事務所地方振興部	観光と食の魅力発信支援事業	観光関係団体や商工団体、事業者等と連携し、地域の観光や食の魅力を隣接県の道の駅等において情報発信することにより、地域食材等の知名度向上や売上の増加、交流人口の拡大による観光消費額の増加を図る。	●	●	●		●	●													
66	東部地方振興事務所地方振興部	インバウンド受入態勢強化事業	飲食店や宿泊施設等の外国人観光客とのコミュニケーション能力向上に向けた支援を行うことにより、石巻地域におけるインバウンド受入態勢を強化する。また、世界に向け石巻地域の復興状況や魅力を発信し、新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンドを促進する。	●	●	●	●								●						●	
67	東部地方振興事務所地方振興部・気仙沼地方振興事務所地方振興部	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会三陸地域部会による情報発信事業	仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会三陸地域部会の事務局として、関係市町や観光関係団体等と連携しながら観光資源の広報宣伝等を実施し、石巻・気仙沼地域への交流人口の拡大を図るとともに、観光を活かした地域振興を推進する。	●	●	●		●	●													●
68	東部地方振興事務所地方振興部	地域支援事業（地域振興型）	震災からの復興が進んだ石巻圏域の新たな観光資源をあなご、ほや雑煮、石巻せり鍋等の「食」やみちのくGOLD浪漫に認定された金華山、世界の持続可能な観光地Top100に認定された東松島市等の視点から再発見し、更なる関係人口・交流人口の拡大を目指す。		●	●		●	●	●												
69	東部地方振興事務所登米地域事務所	地元定着意識醸成事業	登米市内の中高生等を対象に、登米地域の歴史や伝統文化・芸能及び宮城県誕生の歴史に触れる機会を作るほか、登米地域の魅力を発信できる人材を育成することで、若者の地元定着意識の醸成を図る。	●	●	●			●	●				●								
70	東部地方振興事務所登米地域事務所	誘客促進事業	公式SNS「ほっとめーしょん」のInstagramアカウントにおいて、登米市の魅力あるコンテンツを紹介してもらうフォトコンテストを実施するとともに、フォトコンテストの投稿写真を活用した、仙台駅構内のデジタルサイネージでの広告掲載、登米地域内の観光スポット及び飲食店等の情報を集約したデジタルマップの作成を行い、情報発信の強化を図る。		●	●		●													●	●

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略											
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4		
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
71	東部地方振興事務所登米地域事務所	体験型観光コンテンツ掘り起こし・磨き上げ事業	登米市内外の小学生を対象に、登米の魅力に触れることができるクラフトツーリズム体験及びグリーンツーリズム体験をテーマとした体験会を開催するとともに、登米地域内の農泊施設について、近隣地域と連携し、継続的にフォローアップ支援を行うことにより、体験型観光コンテンツの掘り起こし及び磨き上げを図る。		●	●					●	●		●	●	●		
72	気仙沼地方振興事務所	気仙沼地方振興事務所公式Instagramによる情報発信事業	公式Instagramを開設し、圏域の観光資源の魅力を効果的に情報発信する。	●	●	●	●	●										●
73	気仙沼地方振興事務所	宮城オルレ「気仙沼・唐桑コース」の誘客促進事業	宮城オルレ「気仙沼・唐桑コース」への誘客促進を図るため、宮城県観光連盟や地元観光協会等が実施するイベントやプロモーション活動を支援する。	●	●	●	●	●				●						●
74	気仙沼地方振興事務所	デジタルスタンプラリー事業	岩手県沿岸南部、宮城県沿岸北部を縦貫するBRT（大船渡線、気仙沼線）沿線への誘客を図ることにより、宮城、岩手県際地域における周遊性・対流性を高め、交流人口、観光消費の拡大と地域交通の利用促進につなげるため、BRTの駅や近隣の観光地等を巡るデジタルスタンプラリーを実施する。	●	●	●												●
75	気仙沼地方振興事務所	地域資源を活用したアウトドアアクティビティ観光推進事業	トレイル初心者や交通手段の問題で躊躇していた層の新規顧客の開拓を図るとともに、リピーター確保に繋げるため、みちのく潮風トレイルの気仙沼・南三陸セクションを4コース程度の短い区間に分け、トレイルだけでなく、地域探索や地元民との交流などを盛り込んだ日帰りイベント（仙台発着バスツアー）を実施する。		●	●	●	●	●		●							●
76	気仙沼地方振興事務所	スタッフブログ「南三陸&気仙沼を体感！来て見て浜ライン」	気仙沼・本吉地域の復旧・復興情報や見所、イベント情報などについて、取材を通じて情報収集し、ブログにより情報発信を行う。	●	●	●	●	●										
77	気仙沼地方振興事務所	気仙沼・南三陸地域観光情報発信事業	当圏域の観光コンテンツであるキャンプやオルレなどのアウトドアアクティビティのほか、震災伝承施設等をWEBサイトやSNSなどのデジタル媒体を活用して広く圏域内外に対して発信する。 また、インバウンド観光客が興味を持ちそうな情報を選択し、英訳してVisit Miyagi等の媒体を通じ、国外向けに情報発信する。	●	●	●	●	●			●							
78	広報課	インターネット広報事業	ウェブサイト、Facebook、メールマガジン等の特性を活かし、県政ニュースや各種イベント、宮城の魅力、観光情報等を発信する。	●	●	●	●											●

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略											
							回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4		
				R4	R5	R6	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
79	広報課	宮城県戦略的魅力発信事業	県内外に向け、宮城の様々な魅力を総合・横断的に広報する。	●	●	●	●		●									●
80	復興支援・伝承課	首都圏復興フォーラム事業運営事業	東日本大震災の風化防止と震災復興に対する全国からの幅広い支援の継続を訴えるため、青森・岩手・福島の被災各県及び東京都と連携し被災地の復興状況や復興に向けた取組を首都圏の住民やマスコミに広く情報提供するフォーラムを開催する。	●	●	●												
81	復興支援・伝承課	東日本大震災被災地情報発信事業	東日本大震災の風化防止につなげるため、来県者向けに県内の主要な風化防止・伝承施設を紹介する多言語対応の冊子等を作成し、情報発信を行うほか、被災地の復興支援に向けた魅力発信として、広報誌や動画などを作成する。	●	●	●												●
82	復興支援・伝承課	交流人口拡大による被災地活性化事業	東北観光推進機構と連携し、マーケティング等を行い、東北DMPを活用し誘客を見据えた現状分析と今後の被災地に交流人口を増やしていくための戦略の構築、既存ツールに震災伝承を切り口としたコンテンツの追加に加え、関係者のモニターツアーの実施や満足度調査の実施等に取り組むことで磨き上げを行い、継続的に人を呼び込むことができる仕組みの構築を目指し、その後のプロモーションにつなげていくもの。		●	●												● ●
83	復興支援・伝承課	震災伝承教育旅行受け入れ体制強化事業	教育旅行や企業研修等、県外からの誘客受け入れ体制を構築するため、県内伝承団体のPRツールの作成やデータベース化等を行うもの。		●	●												● ●
84	復興支援・伝承課	教育旅行セミナー等参加事業（震災伝承みやぎコンソーシアム）	震災伝承みやぎコンソーシアムの事務局として、全国で開催される教育旅行セミナーに参加し、県内災害伝承のゲートウェイ機能を担う、みやぎ東日本大震災津波伝承館のPRを行うことで、誘客増加を図り伝承団体の活動の機会を拡大するもの。			●												●
85	デジタルみやぎ推進課	無料公衆無線LAN整備事業	ICTを活用し、国内外からの集客力を強化するため、本県独自のSSIDによる無料公衆無線LAN「みやぎFreeWi-Fi」を県有施設に整備し、その重要性を県内に周知しながら、県内民間事業者や他自治体等、本県全域への導入拡大を図る。	●	●	●												● ●

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略														
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4					
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)				
94	食産業振興課	食育・地産地消推進事業	食育、地産地消を通じた県産農林水産物の販路拡大のため、地産地消推進店と連携した県産農林水産物のPR、高校生を対象とした「お弁当コンテスト」、小・中学生を対象とした「伝え人派遣事業」による食育を推進する。	●	●	●				●											
95	食産業振興課	みやぎの食材バリューチェーン構築プロジェクト	今後、県内で生産拡大が見込まれている農産物に対して、一次加工や事業者間による対応を促進するとともに、マーケティングに基づいた商品開発から食材王国みやぎのブランドイメージの浸透を踏まえた販路開拓の支援まで、食産業の各段階における付加価値を高めることにより、食のバリューチェーンを構築する。	●	●	●				●											
96	食産業振興課	県産品デジタルマーケティング展開支援事業	試食等のリアルのツールも活かしながら、ECによる販売拡大やデジタルデータを活用したマーケティングノウハウの習得を支援する。							●											
97	農山漁村なりわい課	むらまち交流拡大推進事業	農山漁村と都市の交流活動を推進するため、地域の受入体制づくりと交流活動に向けた広報や情報発信を行う。また、広域ネットワーク組織を設置し、地域間の連携を強化する。	●	●	●				●			●								
98	農山漁村なりわい課	地域資源・キャリア人材フル活用事業	農山漁村地域において、農泊等の受入体制づくりや都市と地域の交流に向けたコーディネーター人材の育成を支援する。	●	●	●				●			●								
99	農山漁村なりわい課	シン・令和のむらづくり推進事業（しごと・くらし体験）	農山漁村地域に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大を図るため、県内外の社会人や学生を対象とした各種プログラムを通じ、「新たな地域滞在型交流」を促進する。		●	●				●			●								
100	農山漁村なりわい課	農泊地域の周遊ビジネスモデル事業	農泊地域間の広域連携モデル地区を設定し、重点的に支援を行うことで周遊性の向上と滞在時間の長期化により収益性の向上を図り、持続可能な農泊ビジネスの仕組みづくりを図る。							●			●						●		
101	森林整備課	マツ林景観保全事業	松くい虫等による被害からマツ林の景観を保全するため、抵抗性マツの植栽や予防対策を実施するとともに、新たな技術を取り入れた景観保全対策を実施する。	●	●	●				●											
102	道路課	震災復興・伝承みやぎルート整備事業	自転車を活用した観光地域づくりを通じて、サイクルツーリズムの促進や地域活性化を支援するため、「宮城県自転車活用推進計画」に基づき、自転車通行環境の整備等を行う。	●	●	●							●								
103	道路課	高規格幹線道路網の整備推進事業	観光・産業振興、地域間交流の活性化等を図るため、東北・県土の骨格を形成する高規格幹線道路網の機能強化・利便性向上を進める。	●	●	●															●

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略												
							回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4			
				R4	R5	R6	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		
104	道路課	仙台空港周辺の道路改善事業	仙台空港を東北の「空の玄関口」として発展させるため、空港周辺の道路改善などにより機能強化を図り、交流人口の拡大を支援する。	●	●	●													●
105	港湾課	クルーズ船受入促進事業	国内外からの誘客を図るため、仙台塩釜港へのクルーズ船の誘致活動を行うとともに、寄港時の受入対応（おもてなし）を行う。	●	●	●	●											●	●
106	空港臨空地域課	仙台空港地域連携・活性化事業	仙台国際空港株式会社等と連携し、東北全域からのアウトバウンドの強化に取り組み、路線の拡充に向けた需要喚起を図る。 (1)新規路線の誘致や増便等に向けたトップセールスを実施する。 (2)若者を対象にした仙台空港発着の航空旅行に対して、航空券に係る購入費用の一部を助成し仙台空港の利用を促進する。	●	●	●													●
107	空港臨空地域課	仙台空港600万人・5万トン実現推進事業	LCC等の航空会社と連携し、航空機の利用促進を図り、新型コロナウイルスで落ち込んだ航空需要の回復及び新たな需要の掘り起こしを行うほか、仙台空港からの航空貨物取扱量増加に向けた核となる商材の掘り起こしなどを行う。	●	●	●													●
108	都市計画課	みやぎの景観形成事業	景観形成に係る普及啓発及び市町村の景観計画策定の支援を行う。	●	●	●		●											
109	公営事業課	仙台港周辺地域における賑わい創出事業	仙台港周辺地域に立地する企業を中心に設立された官民連携組織である「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」を推進母体として、仙台港周辺地域のポテンシャルを活かした観光資源の磨き上げを図る。	●	●	●		●			●								

No	担当課室 (令和6年4月1日時点の所属名を記載)	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略												
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4			
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		
110	高校教育課	地域と連携した高等学校魅力化事業	地域等の諸課題の解決に取り組む等、生徒が学びたくなり、地域に根差した開かれた学校づくりを展開している高校を指定し、学校運営協議会や地域パートナーシップ会議等により地域資源を活用しながら、学びの意識や自己の役割に対する認識を深める教育プログラム等の工夫について支援する。 ※「魅力ある県立高校づくり支援事業」の後継事業。 ・令和5年度まで、観光関係の取組は松島高校を指定 ・令和6年度新規募集：2月下旬～3月 ・令和6年度指定校決定：4月下旬	●	●	●													
111	生涯学習課	自然の家人と自然の交流事業	各県立自然の家の立地環境を生かし、自然環境への興味関心を高める自然体験活動プログラムを実施する。	●	●	●													
112	文化財課	多賀城創建1300年記念総合整備活用事業	多賀城創建1300年となる令和6年の公開を目指し、多賀城の中軸部である政庁跡から南門に至る地域を集中整備し、観光資源として磨き上げる。	●	●	●													
113	文化財課	日本遺産魅力発信推進事業	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」に認定されたストーリーにちなんだ文化遺産を活かし、観光振興と地域活性化を図る。	●	●	●													
114	文化財課	文化財を活用した地域活性化事業	持続可能な文化財保護や活用に対する地域の気運醸成、魅力発信を担う人材育成事業等を実施することにより、地域活性化と観光振興を目指す。	●	●	●													
115	文化財課	博物館利用情報を活用した地域活力向上事業	高機能レジシステムを導入し、キャッシュレスと関連サービスの奨励を行い、博物館利用者の分析情報を地域や関係団体に提供することで、文化観光と文化資源の連携を促進し、地域の活力向上に貢献する。また、デジタル技術を活用して消費動向を分析し、長期的な視点で特別展期間ごとの連携事業を豊かに変革する。			●													
116	交通規制課	「観光力強化」のための交通安全施設整備事業	外国人旅行者や障害のある方などをはじめとした全ての旅行者が、安全安心かつアクセスしやすい交通環境を整備するため、マイカーやバスのアクセス性向上につながる交通管制システムの拡充及び英語を併記する交通規制標識の整備、また、バリアフリー型交通安全施設等の更なる整備や充実を図る。	●	●	●													

第5期みやぎ観光戦略プラン関連事業調書【市町村事業】

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略												
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4			
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		
1	仙台市	観光プロモーション事業	ターゲットを明確化し、多彩なコンテンツを活用した効果的なプロモーションを行うことにより、国内からの誘客促進を図る。	●	●	●		●										●	
2	仙台市	仙台観光魅力創出事業	多彩な体験プログラムの発掘・創出を行うと共に、ターゲットやテーマを明確化した戦略的なコンテンツ拡充や情報発信を行うほか、誘客及び消費促進を図ると共に、民間事業者等の新たな取組みや新規参入等の支援を行う。	●	●	●			●	●		●	●		●				
3	仙台市	受入環境整備事業	来訪者が安心・快適に過ごせるような滞在環境を整備することで、観光客の満足度の向上やリピーター客の増加を通じた観光客の数の増加を図る。	●	●	●											●	●	
4	仙台市	インバウンド推進事業	台湾やタイをはじめとするアジア地域を主な対象市場とした外国人観光客の誘致促進のため、旅行博出展や海外メディア等の招請によるプロモーションのほか、滞在コンテンツの充実や外国人観光客の受入環境整備を行う。	●	●	●	●	●	●				●					●	
5	仙台市	MICE推進事業	コンベンションや企業系会議等をターゲットとした誘致セールスに取り組むとともに、受入環境の充実及びMICE参加者の回遊促進事業を実施する。	●	●	●	●	●	●			●	●						
6	仙台市	東北観光推進事業	東北全体の持続的な発展に寄与するため、東北各自治体との連携を強化し、地域の多様な魅力を国内外に発信するとともに、交流人口の拡大を図る。	●	●	●		●	●		●								●
7	石巻市	大型客船誘致事業	石巻港への大型客船誘致のため、客船会社や旅行会社にポートセールスを実施する。また、客船寄港時の歓迎セレモニーや観光ツアー等の企画・検討を行い交流人口の拡大を図る。	●	●	●		●		●							●		●
8	石巻市	観光ボランティア等人材育成強化事業	セミナー等の開催により、観光ボランティア、学生ボランティア等の確保、人材育成に力を入れ、観光客の受け入れ態勢の強化を図る。	●	●	●		●		●	●	●		●	●				
9	石巻市	石巻圏観光推進機構による広域観光連携事業	各種データの分析に基づき、地域の魅力ある観光資源のコーディネート、ブランディング、効果的な情報発信等、観光地域づくりを推進する。	●	●	●		●	●			●	●				●	●	

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略														
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4					
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)				
10	石巻市	石巻市総合ガイドブック作成事業	石巻市の観光情報発信のため、観光施設やイベント、食、体験等の観光コンテンツを掲載した総合ガイドブックを作成するほか、インバウンド誘客のため多言語版も作成する。	●	●	●		●								●					
11	石巻市	まつりイベント事業	地域に根差した祭り文化等の観光資源を広くPRし、誘客を図る。観光客誘致イベントの企画・立案や実施・協力、実行団体へのサポート等を行う。	●	●	●		●	●	●	●										
12	石巻市	海水浴場開設事業	各海水浴場の利便性向上及び海難事故防止等安全対策に力を入れ、観光客や市民が安心して楽しめるレクリエーションの場としての誘客を促進し地域活性化を図る。	●	●	●		●		●											
13	石巻市	マンガバス活用推進事業	石巻・仙台間を運行する高速バスの車体にマンガラッピングを施し観光PRを図る。	●	●	●			●	●							●				
14	石巻市	マンガタンライナー活用推進事業	JR仙石線、仙石東北ラインにマンガラッピングを施し観光PRを図る。	●	●	●			●	●							●				
15	石巻市	みちのく潮風トレイル活用推進事業	環境省でルート設定しているみちのく潮風トレイルコースの維持管理、コースの魅力発信により交流人口の拡大を図る。	●	●	●		●	●	●											
16	石巻市	観光情報発信事業	仙台圏からの誘客を目的に、仙台市内の情報発信拠点でのPRを行う。	●	●	●		●	●												●
17	石巻市	仙台・宮城フィルムコミッション連携事業	風光明媚な自然環境、震災後整備された水辺空間等を活用し、映画、ドラマ等の誘致を行い交流人口の拡大を図る。	●	●	●		●													●
18	石巻市	RPG活用推進事業	石巻市の歴史や文化、観光施設等、地域の魅力を詰め込んだRPGアプリを活用し、地域愛の醸成、交流人口の拡大を図る。	●	●	●		●	●	●							●				●

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略													
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4				
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)			
19	石巻市	セイバージャパン活用推進事業	農水省のセイバージャパン認定を受けた地域伝統食「ほや雑煮」を活用し交流人口の拡大を図る。	●	●	●	●		●				●						●	
20	石巻市	石巻エリアファンクラブ事業	震災で得た支援者とのつながりを大切にし、継続的な情報発信、交流事業、イベント開催等を通じ交流人口の拡大を図る。	●	●	●		●			●	●								
21	石巻市	伝統技術継承支援、伝統産業育成支援事業	雄勝硯や鯨歯工芸品の技術継承、後継者の育成を支援すると共に、文房四宝まつりを開催する。	●	●	●				●	●	●	●							
22	石巻市	地産地消推進、食を活用した事業	豊富な地場産品や石巻市独自の食文化等（鯨食、ほや雑煮等）を広くPRし、地産地消の推進、交流人口の拡大を図る。	●	●	●	●		●											
23	石巻市	観光大使活用事業	石巻に縁のある著名人を観光大使に任命し、本市のイメージアップ、PRを行う。	●	●	●														●
24	石巻市	サイクルツーリズム推進事業	ツールド東北やサイクルイベントの開催、レンタサイクル、サイクルステーションの整備によりサイクリストに選ばれる地域を目指す。	●	●	●		●	●										●	
25	石巻市	震災伝承事業	震災遺構の大川小学校、門脇小学校、津波復興記念公園等を活用し、震災伝承、防災・減災ツアー等の検討を行う。	●	●	●							●			●			●	
26	石巻市	教育旅行誘致事業	震災遺構での防災学習や自然体験等のプログラムを活用し、旅行会社や学校へ積極的なPRを行う。	●	●	●		●			●	●		●						●
27	石巻市	インバウンド推進事業	事業者等と連携し、キャッシュレス化の推進や多言語表記等の受け入れ環境を整備し、おもてなし機運の醸成を図る。	●	●	●	●		●				●			●				●

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略														
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4					
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)				
28	塩竈市	観光プロモーション事業	塩竈市の魅力を様々な手段を通じ発信する 他、広域連携等により効果的に情報発信を行う。 モニターツアーにより市内回遊性向上と 関係人口の拡大を目指し、観光ルートの定番 化（ブランディング）を図る。	●	●	●	●	●													
29	白石市	国道113号（二市二町） 観光推進協議会事業	白石市から南陽市までの国道113号を「みちの くおとぎ街道」とし、沿線自治体が連携して 観光振興事業に取り組むと共に、観光関連情 報雑誌への広告掲載、多言語ポータルサイトを 活用した情報発信など、沿線の観光資源の 共同プロモーションを推進する。	●	●	●			●												
30	白石市	地域おこし協力隊を活用 した観光振興事業	観光振興による賑わいづくりの創出を目的 に、地域おこし協力隊2名を配置し、地域の 特性を活かした観光コンテンツの造成や、誘 客促進につながるイベントの企画運営など に取り組む。	●	●	●	●	●	●				●								
31	白石市 松島 七ヶ浜	外国人観光客誘客事業	宮城県国際テーマ地区推進協議会へのPR事業 に参加し、海外への観光PRを行う。	●	●	●		●	●		●			●	●	●	●				
32	名取市	貞山運河舟運事業	歴史遺産である貞山運河を利用した周遊船事 業者に対し、PR経費等を補助する。	●	●	●		●	●	●	●	●			●						●
33	名取市	サイクルツーリズム推進 事業	サイクリスト及びサイクリング関心層に絞っ た効果的なプロモーション及びイベントを行 い、観光誘客を促進する。	●	●	●		●	●	●		●								●	●
34	名取市	名取・仙台沿岸部周遊 キャンペーン事業	回遊性を高めるために官民連携の取組が進む 名取・仙台沿岸部における周遊を促進する。 併せて、SNSによる情報発信を促進し、交流人 口拡大を図る。	●	●	●		●	●	●		●								●	●
35	名取市	観光パンフレット事業	名取市の観光資源や特産品を盛り込み、電子 媒体や動画との連携により深堀ができる観光 パンフレットを作成し、市内への誘客を図 る。	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	●				
36	名取市	インバウンド受入環境整 備事業	アフターコロナにより増加する外国人観光客 の満足度向上を図るため、市内事業者等が行 うインバウンド受入環境整備事業に対し補助 金を交付する。			●		●			●		●		●	●	●				

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略											
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4		
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
37	名取市	桃園市・名取市交流事業	仙台空港から入国する外国人の9割を占める台湾の空港所在都市である桃園市との交流事業に取り組み、交流人口拡大を図る。			●	●	●	●	●						●	●	●
38	名取市	名取市PR観光大使事業	更なる知名度向上、交流人口拡大に向け、観光大使を委嘱し、名取市のPRを図る。			●			●									
39	名取市	震災復興コンテンツリニューアル事業	さらなる震災記憶の伝承、防災意識の醸成に向けて名取市震災復興伝承館の展示コンテンツをリニューアルし、来館者の増加を図る。			●	●			●						●	●	
40	角田市	サイクルツーリズム推進事業	令和4年度に策定したサイクルツーリズム推進計画に基づき、サイクリストが訪れやすい環境整備やイベントの企画立案等を実施する。	●	●	●		●	●							●		
41	角田市	観光物産PR事業	観光物産展等の催事の場において、市の観光と物産の周知・PRを行うことで、認知度の向上、交流人口の拡大と角田産の商品の販売促進を図る。また、道の駅をプラットフォームとする地域資源をフル活用した体験型観光を実施する。	●	●	●			●		●							
42	多賀城市	多賀城創建1300年記念関連事業	創建以来の歩みを振り返りながら、市を挙げて多賀城創建1300年を祝う。先人が築き上げてきた本市固有の歴史や価値を多種多様な文化プログラムを通して再認識し、後世にわたる多賀城市民の誇りとして磨き上げる。さらに、その魅力を内外に発信することで、地域活性化の好機とし、活力溢れる未来へのスプリングボードとする。	●	●	●			●	●	●						●	●
43	多賀城市	観光プロモーション事業	多賀城市の魅力を経験する他、広域連携等により効果的に情報発信を行う。観光物産展等の催事の場において、市の観光と物産の周知・PRを行うことで、認知度の向上、交流人口の拡大と多賀城市産の商品の販売促進を図る。	●	●	●			●									
44	岩沼市	観光振興事業	DMOや近隣自治体と連携して広域観光に取り組みながら、観光に関わる人材育成、協力企業の発掘等を通じて、来訪者を受け入れる下地づくりに努める。また、マイクロツーリズムとして、市民の視点による地域の魅力の再発見・磨き上げ・発信に取り組み、マスコットキャラクターを活用したシティーセールスを推し進める。	●	●	●			●		●	●						
45	登米市	観光誘客対策事業	登米フードフェスティバル事業、地域おこし協力隊による観光推進事業や宮城オルレ登米コース推進事業等の各種誘客イベントを開催する。	●	●	●	●	●	●	●	●							

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略											
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4		
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
46	登米市	シティプロモーション推進事業	認知度向上を図るため、市民と一体となった効果的・戦略的なシティプロモーションを展開する。また、NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」の放送により向上した認知度をさらに高める。	●	●	●				●	●		●					
47	栗原市	観光地域づくり推進事業	観光事業者、観光関係団体、行政による「官民共創」のほか、地域の農林漁業者などとの「異業種連携」による情報共有の場の設置と、マーケットを意識した観光消費の増額につなげるマネジメントを行う観光推進体制を確立する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
48	栗原市	栗駒山交通渋滞対策事業	栗駒山における紅葉時の交通渋滞緩和策として、シャトルバス運行や、観光庁事業を活用したDX技術の導入による渋滞状況の可視化や回遊性の向上などの取り組みにより観光客の利便性向上を図り、観光客の満足度やリピート率の向上、地域経済の活性化につなげる。	●	●	●	●					●			●			
49	栗原市	観光情報総合発信事業	観光客誘客促進のため、栗原市観光ポータルサイト「ぎゅぎゅっとくりはら」やSNSの活用、栗原市観光パンフレット「栗原散歩」の発行や、各種旅行雑誌などといった様々なメディアを活用し、市内の観光情報を発信する。	●	●	●	●	●					●		●	●	●	●
50	栗原市	栗駒山麓ジオパーク推進事業	栗駒山麓ジオパークの推進を図るため、子供たちへのジオ学習やジオパークを案内するジオガイドの育成、来訪者への実施、栗駒山麓ジオトレイルのルート造成など、ジオパーク資源を活用した誘客促進を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
51	栗原市	ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議事業	栗駒山を中心とした豊かな自然資源、動植物、温泉、歴史と文化など多彩な観光資源を活用し、県域を越えた広域的な連携事業を展開する。	●	●	●	●	●							●	●	●	●
52	栗原市	4市町連携による観光誘客事業	地域や県域を越えた連携強化による観光誘客を図るため、4市町が連携した観光情報の発信、合同観光PRイベントを実施する。	●	●	●	●	●							●	●	●	●
53	東松島市	観光物産交流事業	友好都市（東京都大田区、山形県東根市、埼玉県東松山市、福岡県豊前市、宮城県蔵王町）のイベント等を通じて、本市の観光及び市産品等のPRを行い、東松島ならではの地域資源の魅力を発信する。	●	●	●	●		●				●					
54	東松島市	宮城オルレ事業	宮城オルレ奥松島コースを適正に維持管理し、季節ごとのイベントを開催するなど、東松島市ならではの地域資源の一つとして、魅力向上を図ると共に、観光客誘客に向けた情報発信を行う。	●	●	●	●	●	●				●					

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略												
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4			
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		
55	東松島市	広域観光連携事業	観光地域づくり法人（DMO）や観光関係団体等と連携し、サイクルツーリズムや教育旅行等の広域的な観光事業を展開する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
56	東松島市	観光物産振興事業	東松島市が行う観光振興事業に市民の意見、提言等を反映し、官民一体となった取組を推進するとともに、各団体等が実施する観光事業への支援等を行う。加えて、復旧した海岸や野蒜築港跡等の地域資源を活用し、観光客受入の環境や体制の整備を図る。また、市役所庁内及び市内事業者とともに、持続可能な観光地づくりに取組む。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
57	大崎市	国内都市交流事業	姉妹都市等（東京都台東区、愛媛県宇和島市、北海道当別町、富山県黒部市他）との都市交流事業を通し、交流人口の増加ならびに移住定住を促進する。「おおさき宝大使」を活用した市の知名度向上を図り、誘客に繋げる。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
58	大崎市	物産振興事業	宮城県のアンテナショップをはじめとして、首都圏、仙台圏等で物産販売を行い、市の特産品や伝統工芸品を通じた市のPRと販路拡大を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
59	大崎市	観光振興推進事業	地域おこし協力隊を活用して、観光商品の開発やSNS等での情報発信を行い、交流人口拡大を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
60	大崎市	シティプロモーション事業	SNS等を活用して市の自然、歴史、文化、食やイベント等の情報発信を行い誘客を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
61	大崎市	教育旅行推進事業	東北旅行セミナー等に参加し、旅行エージェントや学校関係者等に対して、世界農業遺産に認定された大崎耕土や観光資源を紹介することで、教育旅行誘致を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
62	大崎市	観光振興事業	市の自然、歴史、文化、食などの資源を活用した旅行商品の企画販売と情報発信、イメージキャラクターを活用した各種イベント等での観光PR、観光案内所での観光客への各種情報提供を行う。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
63	大崎市	観光振興事業	台湾旅行博へ出展し、世界農業遺産「大崎耕土」をはじめとする市の魅力を紹介することによりインバウンドの誘客を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略															
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4						
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)					
64	大崎市	観光振興事業	宮城オルレ大崎・鳴子温泉コースと温泉等の観光資源をあわせたPRやイベントの開催により誘客を図るとともに、コースの適切な管理を行う。	●	●	●	●	●														
65	富谷市	スイーツのまち推進事業	観光資源と共に「スイーツのまち＝とみや」の魅力を発信し、富谷市特産品の活用による6次化推進及び関係人口拡大の実現のため、誘客につながるイベント企画運営など新たな機会の創出を図る。また、富谷市特産品を使用したスイーツを、富谷市内のスイーツ・パン店にて販売するスイーツフェア（夏・秋）を開催し、富谷市内外の多くの方々に食してもらう機会を創出すると共に、特産品の価値を広く発信する。	●	●	●			●													
66	富谷市	街道まつり運営事業	しんまち地区を会場に、富谷の歴史・文化・地場産品など富谷の魅力を広く発信し、ふるさと富谷の意識醸成と交流人口の拡大を図る。	●	●	●				●												
67	富谷市	商工団体育成事業	地域活性化・イベント事業として、地域の一体感を創出し観光資源を広くPRし、誘客を図る。イベントの企画・立案や商工祭開催への協力、商工団体へのサポート等を行う。	●	●	●			●													
68	蔵王町	WEB等デジタル広告宣伝事業	町観光情報についてWEB広告、SNSを活用し広告宣伝を行い幅広く観光客誘致を行う。	●	●	●	●															●
69	蔵王町	観光ガイドブック制作事業	観光ガイドブックの修正・増刷や観光ガイドブック掲載情報をもとに多言語対応のWEBサイト開設をし、国内外の観光誘客を図る。	●	●	●	●															●
70	蔵王町	観光誘客推進事業	宿泊割「ざおうさま割」事業等の実施により、積極的な国内観光誘客を行う。	●	●	●	●	●														
71	蔵王町	雪の壁ウォーク開催事業	国内外の誘客を図るイベントとして、雪の壁ウォークを開催すると共に、一般的なツアーでの集客のほか、町内在住者限定のシャトルバスを運行し郷土愛を醸成する。	●	●	●	●	●		●												
72	蔵王町	地域おこし協力隊を活用した観光振興事業	地域おこし協力隊を2名配置し、誘客促進につながるイベント運営やSNSを活用した観光情報発信を行い、交流人口拡大を図る。		●	●	●	●	●	●				●			●		●		●	●

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略															
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4						
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)					
73	七ヶ宿町	みちのくおとぎ街道連携事業	国道113号を活用した観光周遊ルート、みちのくおとぎ街道の知名度を上げるため、宮城県白石市、山形県南陽市、高畠町等と連携したPR事業を行う。	●	●	●			●													
74	大河原町	白石川堤一目千本桜ブランド化事業	宮城、さらには東北のキラコンテンツとなるよう白石川堤一目千本桜のブランド化に力を入れ、磨き上げを図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
75	柴田町	ガーデンツーリズム推進事業	民間事業者とも連携し、県南地域の周遊促進を図ると共に、柴田町がリーダーシップをとれるよう、町内の受入環境の整備、事業者の取組の発展を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
76	丸森町	防災ステーション平常時有効活用事業（観光交流施設整備事業）	防災ステーションの有効活用を図るため、平常時は、舟下り乗船場を中心した町のゲートウェイ機能を有する施設として利用することで、町内への誘客と防災意識向上の2面性を持った施設整備を目指す。	●	●	●							●									
77	丸森町	地域活性化起業人活用事業	総務省の地域活性化起業人（企業人材派遣）制度を利用し、民間のスペシャリスト人材の活用により丸森町観光の課題解決を図る。	●	●	●									●							
78	亶理町	はらこめしプロモーション事業	亶理町発祥の郷土料理「はらこめし」のブランド化を図り、誘客促進のため、国内外に向けてPRを行う。	●	●	●			●													
79	亶理町	観光周遊サイト「ぶらっとわたり」の運用事業	誘客促進及び来訪者の周遊を促すため、観光周遊サイト「ぶらっとわたり」（6言語対応）を用い、観光情報を発信するとともに、周遊をサポートする。	●	●	●															●	
80	亶理町	震災語り部の会事業	震災の記憶を後世に語り継ぐため、被災時の状況、復興までの歩みを伝える語り部ガイドの利用受付・派遣・育成を行う。	●	●	●							●									
81	亶理町	わたり温泉島の海民間活力導入事業	民間活力を導入のもと、仙台空港から一番近い温泉宿として国内外から新たな誘客を図る。	●	●	●			●													

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略															
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4						
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)					
82	巨理町	観光と産業、文化を結ぶ拠点事業	温泉施設がある鳥の海エリアに観光と産業・文化を連携させる拠点を整備し、様々な魅力を磨きながら伝えることで周遊を促進させ、交流人口の拡大を図る。	●	●	●			●													
83	巨理町	レンタサイクル事業	歴史・里山・里海の魅力を活かした地域交流型サイクルコースの作成及び誘客プロモーションにより町内外からの誘客を図る。	●	●	●																●
84	山元町	花畑プロジェクト（ひまわり祭り）事業	山元東部地区に広がる広大な畑地を活用した「ひまわり祭り」を開催し、交流人口の増加と賑わいの創出を図る。	●	●	●	●	●														
85	山元町	レンタサイクル推進事業	「新しい旅行スタイル」として有効なレンタサイクルを推進すると共に、町内に点在する観光資源の価値を高め、観光客の町内周遊を促進し、交流人口の拡大を図る。	●	●	●	●	●														
86	山元町	山元町ブランド推進事業	町のイメージと認知度の向上を図るため、優れた産品や特有の文化など、町が誇る地域資源を「山元ブランド」として認証し、魅力を発信する。	●	●	●			●			●										
87	松島町	観光の新たな担い手育成事業	松島高等学校観光科の生徒の取組について、発表の場の提供、町の観光関連イベントへの協力等を通して観光に携わる人材の育成を行う。	●	●	●																●
88	松島町	サステナブルツーリズムコンテンツ造成事業	地域連携DMOを中心として持続可能なツアー商品造成を行い、当面は国内向けに、コロナ収束後には海外に向けても誘客を図る。	●	●	●	●	●	●													●
89	松島町	教育旅行誘致事業	教育旅行を誘致するため、ワークブックを使ったSDGsや探究学習をテーマとしたコンテンツ整備、観光関連事業者等と連携した受入体制の整備、旅行会社や教育機関等へのセールス活動を行う。	●	●	●			●		●		●									
90	松島町	海事観光推進事業	海事観光における観光先進国実現のため、地域における関係者の連携により、地域の特色を活かした海事観光のコンテンツの発掘や磨き上げ、情報発信を行う。	●	●	●			●		●		●									

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略															
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4						
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)					
91	七ヶ浜町	ブランド七ヶ浜事業	七ヶ浜の地域資源を活かした地場産品を「ブランド七ヶ浜」として認定し、情報発信することにより、七ヶ浜町の知名度向上と地場産業の振興を図る。	●	●	●				●												
92	村田町	観光情報総合発信事業	観光客誘客促進のため、村田町観光サイト「MURATABI」やSNSの活用、村田町観光総合ガイド「むらたび」の発行や、各種情報誌・旅行雑誌などといった様々なメディアを活用し、町内の観光情報を発信する。また、町内の各観光施設と連携し、観光事業やイベントを継続的に実施する。	●	●	●		●					●		●				●	●		
93	村田町	地域活性化起業人活用事業	総務省の地域活性化起業人（企業人材派遣）制度を利用し、民間のスペシャリスト人材の活用により村田町観光の課題解決を図る。			●		●	●	●			●	●					●	●		
94	村田町	村田町創業者支援事業	町内産業の振興及び地域経済の活性化を目指し、蔵の町並みをはじめとした観光資源の活用を図り、賑わいを創出するため創業者に対し支援を行う。			●							●									●
95	村田町	宮城オルレ「村田コース」事業	宮城オルレ村田コースを適正に維持管理し、イベントを開催するなど、魅力向上を図ると共に、観光客誘客に向けた情報発信を行う。			●		●	●	●			●		●	●	●	●	●	●		
96	利府町	地場産品全国PR事業	町の魅力を全国に発信するため、テレビの視聴者プレゼントとして町の地場産品を提供する。	●	●	●			●													
97	利府町	オリジナル返礼品拡大事業	町の魅力発信及び特産品の販路拡大を図るため、ふるさと応援寄附金の返礼品として観光ツアー等を実施する。	●	●	●		●	●													
98	利府町	海業創出支援事業	地域おこし協力隊を活用し、「観光×漁業」の連携による複合的な「海業」づくりを推進し、本町が有する「海」という観光資源を活かす新事業の展開や地域経済の活性化、地域ブランドの向上に資する担い手を育成する。		●	●		●	●	●	●		●	●								●
99	大和町	レンタサイクル事業	新たな観光資源として、自然やアクティビティが好きな方に実際に自転車という手段で七ツ森周辺施設等を巡っていただけるよう、レンタサイクルを提供する。	●	●	●			●													

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略															
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4						
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)					
100	大和町	オートキャンプ場整備事業	大和町観光事業の発展及び南川ダム周辺施設間の利便性を図ることを目的として、四十八滝運動公園を整備する。オートキャンプ場の更なる誘客に向け、キャンプ場利用者に周辺施設利用促進も併せ、温泉施設半額等利用券の配布を行う。	●	●	●			●													
101	大衡村	おおひら万葉まつり開催事業	万葉クリエートパークを会場に、大衡村の魅力を大きく表現したイベントの実施により、来場者の交流を図る。	●	●	●			●													
102	大衡村	おおひらふるさと祭り開催事業	地域の一体感を創出し、伝統的な文化を継承しながら新たな文化創造を目指して村民等の各部門・各団体が一致協力し合い「おおひらふるさと祭り」を開催し誘客を図る。	●	●	●			●													
103	大衡村	地場産品振興事業	各種イベント等へ出展し、地場産品のPR・拡販を行うと共に観光PRを行う。	●	●	●			●													
104	色麻町	交流人口増加のためのコンテンツ創出戦略策定事業	地域資源を活用した観光コンテンツを創出することにより、交流人口や関係人口の獲得と地域の活性化を図ると共に、アフターコロナを見据えて、色麻町ならではのことができるような「コト」を発掘し、その磨き上げと活用の方向性を検討する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
105	加美町	モンベルアウトドア振興事業	モンベルアフレンドタウンとして、アウトドアランド形成事業を推進する。	●	●	●			●			●										
106	加美町	国際ビジネス推進事業	加美町へのインバウンド誘客に向け、インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツの造成を推進する。			●	●	●			●	●							●	●		
107	涌谷町	「金」のストーリーでつながる広域連携推進事業	日本遺産「みちのくGOLD浪漫」を旗印に、金の歴史を共有する構成市町（涌谷町・南三陸町・気仙沼市・平泉町・陸前高田市・石巻市）との連携を推進し、国内外からの誘客を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
108	涌谷町	篁岳山・篁峯寺周辺の魅力増進事業	「雲海」を一般の観光客が見ることができるよう環境整備を進め、篁峯寺の座禅体験と併せ、ツアー等に組み込めるよう働きかけを行う。	●	●	●	●	●	●	●									●	●		

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略											
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4		
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
109	涌谷町	地場産品振興事業	町内特産品を広くPRし、町の認知度の向上を図ると共に、販売量の増加と販路の拡大を目指す。また、関係機関の主催するイベントに参加し、特産品のPR及び販売を行う。	●	●	●	●	●									●	●
110	美里町	物産観光振興事業	町の魅力向上と地域経済の活性化に寄与することを目的に、町の物産販売、魅力PR、総合案内所運営、催事開催等を行う。	●	●	●	●	●				●	●					
111	女川町	広域観光推進事業	各種データの分析に基づき、地域の魅力ある観光資源のコーディネート、ブランディング、効果的な情報発信等、観光地域づくりを推進する。	●	●	●	●	●				●	●				●	●
112	女川町	サイクルツーリズム推進事業	牡鹿半島の風光明媚な自然を観光資源とし、ローディーの誘客の足掛かりとすべく、関係団体への加盟及び近隣市との共催によるサイクリングイベントを実施する。	●	●	●		●										
113	女川町	遊歩道受入体制整備事業	みちのく潮風トレイルを含めた町内の遊歩道における定期点検及び軽整備を継続するとともに、令和4年度中において整備した町内トレイルマップを活用し、利用者の普及に努めます。	●	●	●	●											
114	女川町	観光誘致事業	観光PR、ツアー造成、キャラバン等、町の賑わい創出に繋がる業務を実施する。	●	●	●	●	●	●	●		●					●	
115	女川町	出島観光振興整備事業	令和6年12月の出島架橋開通に伴い、出島へと訪れる訪客数は現状からの大幅な増加が見込まれていることから、島民協議による意見を基に、来島者を迎えるにあたり必要な設備としてトイレと誘導標識（看板類）の整備を進める。			●		●	●							●	●	
116	南三陸町	滞在型魅力向上事業	減少傾向にある宿泊客の早期回復を目的に、町内の滞在時間の延伸を図り、宿泊事業者及び観光交流事業者を対象とした勉強会等を定期的に開催する。	●	●	●	●	●			●	●	●	●				
117	南三陸町	教育旅行誘致促進事業	地域資源の活用と、地域人材の起用による受入実績の拡大を図ることを目的に、受入体制整備・人材育成・プログラムの開発・誘致営業活動を行う。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
118	南三陸町	地域プロモーション事業	交流人口及び観光消費額の拡大（回復）を図ることを目的に、WEB・SNS・PR媒体等を活用しプロモーションを図るとともに、南三陸ファン事業の推進を行う。	●	●	●	●	●								●	●	

No.	市町村名	事業名	事業概要	事業年度			該当する戦略													
				R4	R5	R6	回復戦略		戦略1			戦略2		戦略3		戦略4				
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)			
119	南三陸町	地域観光案内所運営事業	地域情報の集約と来訪のお客様へのご案内を通し、域内での周遊または滞在時間の延伸を図ることを目的に、常設の案内所の開設・運営を行う。	●	●	●											●	●		
120	南三陸町	訪日外国人誘致体制整備事業	主に台湾からの訪日教育旅行及び企業研修等を誘致することを目的に、現地での商談会・旅行博への出店や高級中学校、大学、企業への訪問を継続的に行う。	●	●	●	●		●		●						●	●	●	
121	南三陸町	ブルーツーリズム推進事業	宿泊客の拡大（回復）と域内での滞在時間の延伸を図ることを目的に、教育旅行を主とした旅行商品の磨き上げを行うと共に、海水浴場（サンオーレそではま）で「きれいで安全で誰もが楽しめる優しいビーチ」を目指しブルーフラッグ認証の取得に向けた活動を推進する。 また、食と観光を結びつけ、食材の産地と観光客を食の力で繋げる消費・販路拡大プロモーションを行い、更なる誘客を図る。	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●			
122	南三陸町	スポーツ文化ツーリズム事業	地域が保有する文化スポーツ施設・宿泊施設等を活用し、地域経済の活性化を目的に、滞在型のスポーツ合宿、勉強合宿、音楽合宿等の受入れの強化・推進を図る。			●	●	●				●								●
123	南三陸町	道の駅誘客プロモーション業務	幅広い地域への周知とコアユーザー獲得のため、道の駅公式ホームページへのバナー広告及び道の駅情報誌への掲載を行う。 また、新たに制作したラーニングプログラムを活用し、教育旅行先への誘客促進に繋げる。 一方で訪日外国人の利用客も増加傾向にあることから、展示バナー及び映像作品の翻訳業務を実施し、訪日外国人の誘客促進に繋げる。			●	●	●											●	●